

WG 活動報告

10. 悪性リンパ腫(ML)【成人】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者： 鈴木 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍センター
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
尾関 和貴	江南厚生病院	血液・腫瘍内科
近藤 英生	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
兵 理絵	名古屋大学医学部	造血細胞移植情報管理・生物統計学
鈴木 律朗	名古屋大学医学部	造血細胞移植情報管理・生物統計学
加藤 春美	愛知県がんセンター研究所	遺伝子医療研究部
小川 啓恭	兵庫医科大学	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科(第一内科)
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液腫瘍内科
横山 寿行	仙台医療センター	血液内科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
木藤 克之	滋賀医科大学附属病院	無菌治療部
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	臨床検査科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
酒井 リカ	神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
石田 文宏	信州大学医学部附属病院	血液内科

② 2011 年末時点で承認された研究、及び業績一覧

「濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 伊豆津 宏二
<p>学会発表・論文業績: Izutsu K, Suzuki R, Kako S, Sakai R, Mori T, Yano S, Kato J, Fukuda T, Taniguchi T, Takashi M, Morishima Y, Tanaka J, and Suzumiya J</p> <p>Poor Performance Status, Chemorefractory Disease At Transplantation, and Umbilical Cord Blood As Donor Source Were Adverse Prognostic Factors for Overall Survival After Allogeneic Stem Cell Transplantation for Follicular Lymphoma: Retrospective Study of the Japan Society of Hematopoietic Stem Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Group.</p> <p>53rd American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition(Poster session, abstract 3093) (平成 23 年 12 月 10-13 日) San Diego Convention Center, San Diego, California, USA</p> <p>伊豆津宏二、鈴木律朗、賀古真一、酒井リカ、森毅彦、矢野真吾、谷口修一、福田隆浩、加藤淳、高梨美乃子、森島泰雄、田中淳司、鈴木淳司</p> <p>濾胞性リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の予後因子解析: JSHCT 成人悪性リンパ腫 WG からの報告 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場 演題応募済み</p>

「悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植」 PI:吾郷 浩厚
<p>学会発表・論文業績:吾郷浩厚, 加藤 光次, 名和 由一郎, 加藤 春美, 鈴宮 淳司, 福田 隆浩, 谷口修一, 小川 啓添, 衛藤 徹也, 鈴木 律朗, 長村 登紀子, 森島 泰雄, 坂巻 壽 日本造血細胞移植学会 Adult Lymphoma WG</p> <p>悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植の有効性の検討—Adult Lymphoma WG による一元化データ解析—第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場 演題応募済み</p>
「節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型 (ENKL) の移植成績」 PI:鈴木 律朗
<p>学会発表・論文業績:Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Hematopoietic stem cell transplantation for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal-type: The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Party.</p> <p>The 11th International Congress on Malignant Lymphoma (Oral presentation, Abstract #41) June 15, 2011, Lugano, Switzerland</p> <p>Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Hematopoietic stem cell transplant for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type: JSHCT Lymphoma WG.</p> <p>第 73 回日本血液学会総会(口演). 2011 年 10 月 14 日(金)、名古屋国際会議場</p> <p>Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Comparison of autologous and allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal-type: Analysis of The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Group.</p> <p>The 53rd Annual Meeting of American Society of Hematology (Oral presentation, Abstract #503) (平成 23 年 12 月 10-13 日) San Diego Convention Center, San Diego, California, USA</p>
「リンパ腫の組織型別・病期別移植成績」 PI:伊豆津 宏二
<p>学会発表・論文業績:Izutsu K, Suzuki R, Fukuda T, Ueda Y, Taji H, Sakamaki H.</p> <p>Hematopoietic stem cell transplantation for lymphoma: Demographic data of 10500 transplants from the Transplant Registry Unified Management Program (TRUMP) of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). 11th International Conference on Malignant Lymphoma, Palazzo dei Congressi, Lugano, Switzerland (平成 23 年 6 月 15 日-18 日) 誌上发表</p> <p>伊豆津宏二、鈴木律朗、福田隆浩、植田豊、田地浩史、坂巻壽、鈴宮淳司 成人悪性リンパ腫症例に対する造血幹細胞移植: JSHCT 成人リンパ腫 WG 第 73 回 日本血液学会学術集会 (平成 23 年 10 月 14 日) 名古屋国際会議場</p>
「ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」 PI:賀古 真一
<p>学会発表・論文業績:賀古真一、伊豆津宏二、加藤光次、金成元、森毅彦、福田隆浩、小林直樹、田地浩史、橋本尚子、坂巻壽、森島泰雄、長村登紀子、鈴木律朗、鈴宮淳司 ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討: 日本造血細胞移植学会成人悪性リンパ腫ワーキンググループからの報告 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場、演題応募済み</p>

③ 会議開催記録(2011 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2011/7/1	日本リンパ網内会学会会場 国際会議場 4 階 405 室 福 岡市	①新メンバーをふくむメンバーの確認・ご紹介②研究費(STATA)購入に 関して ③現在許可されている研究の進捗状況の報告④新規研究テーマに 関して⑤その他

④ WG の今後の活動方針・抱負など

WG のメンバーの力で、少しずつデータがでて、発表できるようになりました。なるべく早く論文を出版するとともに、WG 内の活発な議論により研究のさらなる深化を図るとともに、新しいプロジェクトも考えて進めていきたいと思ひます。リンパ腫治療における移植治療の役割を示すことができるように、メンバー全員で取り組んでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。